

議案第1号平成25年度船橋市一般会計予算について、

**原案賛成、2つの組替え動議に反対**の立場で討論いたします。

災害時の飲料水確保について、昨年6月議会における朝倉議員の災害時にマンションの給水槽に蛇口を設置し飲料水を確保する質問にヒントを得て、市は市内の全ての小中学校・公民館に蛇口を設置したこと。

その結果、災害時に270万リットルが確保され、ペットボトルや井戸による188万リットルと併せて458万リットル、61万市民の2日半分が確保できたこと。

また、マンションについても県の水道局と協議し4月1日から設置できるようになったこと。

行田の国家公務員体育センター跡地を市が購入し、「福祉と防災の拠点づくり」を計画していること。

新たに宿泊可能避難所として県立高校などを指定し、備蓄品を整備すること。

新保健所の機能の他、保健センター、夜間休日急病診療所、子ども発達相談センター、地域包括支援センターの機能を持つ、(仮称)保健福祉センターを整備し、保健・医療・福祉サービスの充実を図ること。

特別養護老人ホームの補助額を定員1人当たり370万円から400万円に増額し、新・増築を6施設で行い、422人の定員増と、グループホーム、低所得者の地域密着施設、ショートステイ82床の定員増を図ること。  
これによって要介護度4・5の重度の方や要介護度3の認知症、独り暮らしの方が入居できるよう施設整備が図られること。

交通不便地域対策として、八木が谷、丸山、田喜野井地区の交通不便解消バス運行事業を 実証運行から本格運行するための補助金と、北習志野駅と飯山満駅から医療センターまでの路線バス試験運行のための補助金が計上されたこと。

市民社会ネットが結成以来、求め続けてきた、中学生までの子ども医療費の助成拡大を ようやく本年8月から、入院、通院とも中学生まで実施すること。  
以上の理由をもって原案に賛成いたします。

みんな党の修正動議は、国が復興財源確保のため、国家公務員の給与を2年間限定で7.8%削減することに合わせて、地方公務員の給与を削減しようとするものですが、地方公務員の給与は自治体の権限と判断で自主的に決定すべきものであり、国が地方交付税を削減することによって国に従わせようとすることは、自治権の侵害であります。

給与を削減するかどうか、削減した財源をどのように使うのかは、自治体が自ら考えるべきことであり、財政の現状、職員の生活保障、公共サービスの質と量、住民からの信頼など、今後、市民や職員の声を聞きながら総合的に検討されるべきであり、現時点で削減ありきの修正動議には賛成できません。

日本共産党提出の組み替え動議は、賛同できる施策もありますが、東葉高速鉄道(株)出資金や船橋駅南口市街地再開発事業特別会計繰出し金はやむを得ないものと考えてるので反対といたします。

予算賛成に当たって次のことを要望します。

小中学校や保育園などの耐震化を平成27年度中に完了させるために努力していることは評価いたしますが、まだ県下で最低の耐震化率であることや、完了まで後3年かかること考えると、いつ来るかわからない首都直下型地震に備えて1日も早く耐震化を完了すること。

在宅介護が困難な方に特別養護老人ホームを整備する事は必要なことですが、施設入居を希望する家族が増えるのは、それだけ在宅介護の体制が不十分なことの裏返しであり、多くの高齢者は在宅で生活する事を望んでいます。

市民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう 保健、福祉、医療を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を、スピード感をもって行なうこと。

子ども医療費の助成については、近い将来 完全無料化をめざすこと。

認可保育所の待機児童数は25年4月に644人程度と予想されているが、これらの児童のために緊急対策、補正予算を講じること。また、待機児童ゼロを宣言し、期限を切った待機児童対策を講じること。さらには増加する待機児童を解消するためには、市立保育所は新設しない方針を見直すこと。

放課後ルームについても待機児童が発生しており、定員増の拡充を図ること。また災害に備えて帰宅までの間、放課後ルームで過ごす子どもたちに必要な備蓄を確保すること。

北部清掃工場の建替え事業に関しては、安全と安定的運営を図るための人員を配置し、業務遂行状況のモニタリングをしっかりと行なうこと。

都市計画道路、宮本古和釜線、などの整備促進を図るとともに、狭矮通学路の改善など、生活に密着した道路や歩道の整備を進めること。大型開発事業に隣接する道路に関しては事業者頼りではなく市が主導して将来的なビジョンを持った開発を進めること。

原発や化石燃料依存から脱するために太陽光発電システムを市の公共施設に積極的に設置し自然エネルギーの活用を研究すること。

非正規職員の待遇改善は不十分であり、引き続き処遇改善に努めること。

東葉高速鉄道に対する出資金と利子補給金について、これまでの経過からいって止むを得ないと思うが、国は東葉高速鉄道が持つ3000億円の有利子負債軽減について、市の再三の要望申入れを無視し動こうとはしていない。事態を打開するために、この際、出資金と利子補給金をいったん凍結し交渉のテーブルを作ること。

以上を要望します。

#### **議案第2号 平成25年度国民健康保険事業会計予算** **【反対】**

市は、これまで延滞金に関しては、資産がありながら督促に応じない悪質者に限って延滞金を課していたのですが、平成25年4月、滞納者に一律に延滞金を課そうとしているため反対します。

保険料未納者の増加は、加入者の所得の減少が大きな原因です。低所得者に対する保険料減免制度や高額医療費助成をいっそう拡充させること、また、親の保険料滞納の結果「無保険」の子どもが生じないよう、適切な対応を行なうことを要望します。

#### **議案第3号 平成25年度下水道事業特別会計予算** **【賛成】**

・公共下水道事業は、莫大な事業費を要し、河川の枯渇や処理水などによって自然環境を破壊する側面も持っている。小規模な地域下水道や合併浄化槽の設置、処理水を上流部にポンプアップして河川に放水する方法等、船橋での実現可能性を検討すること。

・東京湾の水質を改善するために、処理水の第3次高度処理事業を一層進めること。

・高金利市債の繰上げ償還、借り換えによって利払いの軽減を図り、使用料の値下げ、市民負担の軽減を図ること、以上を要望して賛成いたします。

#### **議案第4号 平成25年度小型自動車競争事業特別会計予算** **【反対】**

小型自動車競争事業そのものに反対です。

事業廃止に向けた計画を早急に策定することを求めます。

#### **議案第5号 平成24年度南口市街地再開発事業特別会計予算** **【賛成】**

一般会計からの多額な繰入金や平成43年までの長期償還計画に懸念はありますが、一般会計からの繰入れは止む得ないものと考え、賛成いたします。

**議案第6号 平成25年度介護保険事業特別会計予算 【反対】**

市は、これまで延滞金について条例に定めはあったものの、実際には課していなかったのですが、平成25年4月、滞納者に一律に延滞金を課そうとしているので反対です。

保健、福祉、医療を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築、認定制度の簡素化やケアマネジャーの公的採用、保険料を応能負担にすることなど介護保険制度の抜本的改善を図ることを要望しておきます。

**議案第7号 平成25年母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 【賛成】**

母子家庭の自立が図られていますが、子供を抱えながら常用雇用を目指すのは実にさまざまな困難があるものです。一人親に対する支援の中には、法的に「寡婦」に当たらないとして同じ一人親家庭でありながら同様の支援が受けられないなどの差別が存在し、また自立支援事業そのものが十分でない中、この貸付事業の持つ意味は、大きいものと評価し賛成いたします。

**議案第8号 平成25年度後期高齢者医療事業特別会計予算 【反対】**

後期高齢者医療制度は、医療費の増加を抑制するために75歳以上の高齢者を他の医療保険から切り離し、「保険料値上げ」か「医療内容の劣化」か、という選択を高齢者自身にせまるもので、その名称や高齢者を75才で線引きしたこと、保険料を年金から天引きしたこと、個人単位の保険にも係らず保険料は世帯収入で決めることなど、後期高齢者医療制度そのものに反対です。

また、保険料の普通徴収者の滞納が増大していますが、保険料滞納による資格証明書の交付はおこなわないこと、延滞金の一律徴収は行なわないことを要望しておきます。

**議案第9号 平成25年度中央卸売市場事業会計予算 【賛成】**

中央卸売市場は平成26年4月より地方卸売市場に転換することを予定していますが、農業漁業のさかんな船橋市として、市民に新鮮で低廉な食料を供給し、市内小売業の活性化を図るために本事業は必要かつ重要なものと考えますので賛成します。

地方卸売市場に転換することを期に魅力と賑わいのある卸売市場に再生、発展させるとしていますが、食育の場としても機能させることや市民とのふれ合いの機会を積極的につくすることも重要であり、経営展望策定に当たってはこれらの視点を十分考慮すると共に、市場の規模は売上高に見合ったものとし、余剰資源の有効活用を図ることを要望しておきます。

## 議案第10号 平成25年度病院事業会計予算

【賛成】

地域の中核医療機関として、救急医療、高度医療、緩和ケアなど質の高い医療を提供し、また市民の医療ニーズに応えるため、新たに腫瘍内科、消化器外科、乳腺外科を設置することや、

中期経営計画において、救急救命センターを充実させ、救急を断らない体制、なかでも三次救急を断らない体制を推進すると掲げたことを評価して賛成とします。

- ・がんケア病棟については人材確保に努め一般病棟や地域の医療機関との連携、在宅ケアの支援を強めること。
- ・女性専用外来をさらに充実させるとともに精神保健分野の相談窓口を増設すること。
- ・医療事故を未然に防止するために、医療スタッフの増員や医師が使命と誇りをもって医療行為ができるような医療環境の整備や研修を行うこと。
- ・患者に対する説明を担当医師だけでなく複数で行うことや第三者機関の設置、選任のリスクマネジャーの配置を行なうこと。
- ・東葛南部医療圏における救命救急センターとして、近隣患者も受け入れていることから、県や近隣市に応分の財政負担を求めることを要望しておきます。

## 議案第11号 平成24年度一般会計補正予算

【賛成】

国の補正予算による国庫補助金を活用し、保育所、学校校舎、公民館などの耐震化を推進すること、また、都市計画道路を整備するための補正予算ということで賛成します。

但し、保育所運営費補助金や施設整備費補助金の削減に関しては、補助対象法人が施設整備計画を取り止めたもので、多くの待機児童が発生する中、大変遺憾なことです。

市の見通しの甘さを指摘しなければなりません。1号議案でも述べましたが、こうした事例が生じるのであれば、今後は「市立保育所は新設しない方針」を見直す必要があると考えます。

## 議案第12号 平成24年度国民健康保険事業特別会計補正予算

【賛成】

## 議案第13号 平成24年度下水道事業特別会計補正予算

【賛成】

## 議案第14号 平成23年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

【賛成】